

# 最新の歯科技工技術に関する講習会 I

## 都技 生涯 研修

### [重要なお知らせ]

1. コロナウイルス感染拡大防止目的により、参加申し込み者のみが視聴できるYouTubeの限定公開システムを用いたオンラインによるセミナー開催となります（\*オンライン環境がない方は会場参加可）。
2. **本研修会は東京都保健医療局からの委託事業となっております。**

つきましては受講対象者は以下の方に限ります。

- 東京都歯科技工士会会員
- 学生
- 東京都内在住または在勤の歯科技工士

### [申込開始日]

- 東京都歯科技工士会会員 : 5月30日(木) AM10時～
- 学生・東京都内在住または在勤の歯科技工士 : 6月1日(土) AM10時～

\* 受付開始日前のお申し込みは無効といたします。

### [申込方法]

- ① 参加希望者は申込用二次元コード、もしくは東京都歯科技工士会のホームページからお申し込みください。

ホームページURL: <https://www.to-ginet.com>

- ② 上記オンライン申込をされますと登録したメールアドレスに自動返信されますのでご確認ください。

\* 定員になり次第締切といたします。

### [LINE公式アカウント登録のお願い]

緊急連絡、変更&追加報告をスムーズにさせるために都技では試験的にLINE公式アカウントを設けましたのでLINEを使用されている方は、是非とも登録をお願いいたします。



申込用



都技LINE公式  
アカウント二次元コード

### [お問い合わせ]

一般社団法人 東京都歯科技工士会

〒170-0004 東京都豊島区北大塚2-2-10 ヴィップ大塚香川ビル4F  
e-mail: [togi-info@to-ginet.com](mailto:togi-info@to-ginet.com)

2024年度

## 最新の歯科技工技術に関する講習会 I

### オンラインセミナー

## 歯科技工業界における デジタルトランスフォーメーションの勧め

櫻井 靖之 先生

## 歯科治療における歯科技工士の役割

『これからの時代を踏まえ考えなければならないこと』

井上 陽介 先生



Tokyo master course Science Lecture

[開催日時]

2024年 **6月30日** 日

入室 **12:40**

開始 **13:00** → 終了 **17:00**

### オンラインセミナー

定員 **80名** 参加費 **無料**

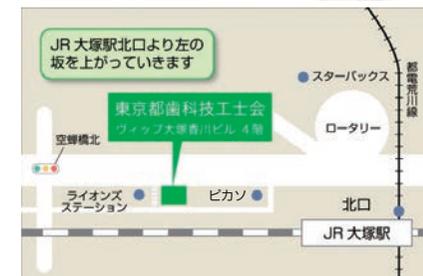
### 会場受講

定員 **10名** 参加費 **無料**

場所 **東京都歯科技工士会 研修室**

東京都豊島区北大塚2-2-10 ヴィップ大塚香川ビル4F

一般社団法人 東京都歯科技工士会



# 都技 生涯 研修

# デジタルトランスフォーメーションの勧め

## 歯科技工業界における

近年、歯科治療にデジタル機器が取り入れられるようになり、我々の行う技工業務においても従来の作業の多くがデジタル化に変化してきている。例えば、ハンドメイドで行われていたワックスアップはCADソフト上での作業となり、また鋳造に替わり切削加工機による加工が主たる作業となっている。それにより作業効率の向上などに一定の結果を得ていることは周知の事実である。ただし、デジタル化とは、ITツールの導入やデジタルデータ・デジタル技術の導入の活用など『戦術』であり、トランスフォーメーション『変化』とは、組織改革やビジネスモデルの変革のことである。この2つを併せ持って、DX（デジタルトランスフォーメーション）と言われている。

以上を踏まえた上で、弊社が取り組んでいるDX化『戦略』（歯科治療の質の向上、作業効率のアップ）を紹介したい。

### ■講師略歴

櫻井 靖之 [さくらい やすゆき]



#### 略歴

1983年 新大阪歯科技工士専門学校 卒業  
1983年 本多歯科医院 勤務  
1984年 木原歯科医院 勤務  
1990年 (有)ファイン 設立  
2007年 (株)ファインロジック 設立  
2016年 ファインホールディングス 設立  
2020年 大阪府歯科技工士会 副会長 就任

- 大阪大学歯学部附属技工科 非常勤講師
- 新大阪歯科技工士専門学校 非常勤講師
- 東洋医療専門学校 非常勤講師

# 『これからの時代を踏まえ考えなければならぬこと』

## 歯科治療における歯科技工士の役割

近年、歯科業界におけるデジタルの進歩は著しく、特にクラウン・ブリッジの補綴装置を製作する工程においては大きく変化している。また、多くの優れた材料の開発によって、従来に比べより簡単に、効率よく、審美性の高い補綴装置の製作が可能となり、このような新しい技術や材料を上手く活用することで多くの恩恵を得ることができると感じている。

しかしその反面、最新の機材や材料を使用することが良好な治療結果につながるのではないと思われる。患者にとって必要とされる補綴装置の目的や考え方などは変わっておらず、先人の方々の教えを継承しながら、新しい技術への対応をしていくことが必要とされると考える。

そこで今回、歯科治療に携わる歯科技工士として、どのようなことを考え補綴装置の製作を行う必要があるのかを臨床例を用い解説したい。

### ■講師略歴

井上 陽介 [いのうえ ようすけ]



#### 略歴

2005年 岐阜県立衛生専門学校歯科技工士学科 卒業  
2006年 Institute Dental Technology of California 卒業  
2006年 AuCeram 勤務  
2007年 (有)ファイン 勤務  
2012年 松川歯科医院 勤務  
2017年 IEDITION 設立  
2018年 (株)IEDITION 設立

#### 所属・役職

- 大阪S.J.C.D臨床テクニシャンコース インストラクター
- 新大阪歯科技工士専門学校専攻科 非常勤講師
- 日本臨床歯科学会大阪支部 会員
- Coki